

対象年度		令和 8年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート									
事務事業名		市道整備事業						予算事業名		市道整備事業費			
予算科目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	道路法、道路構造令、結城市道の構造の技術的基準等を定める条例			
				08	02	03	35	経常経費					
総合計画体系		住みたい・住み続けたい 安全・快適な都市を目指そう 快適で住みやすいまちづくり 良好な住環境の形成						事業の区分		主要事業			
								担当課係等		土木課 改良係			
事業期間		継続 ( 年度～令和10年度)											
【めざす姿 (意図・どのような状態になるのか)】						【事業開始のきっかけや他市の状況など】							
道路拡幅整備や砂利道の舗装化を進めることで利便性及び安全性の向上を図り、対象者への快適な利用に寄与するものである。						沿線住民にとって切実な問題であり、多数の要望が寄せられている。要望件数 (令和7年3月31日) 道路改良事業 24件 (内 4件整備着手済) 舗装新設事業 48件 (内 3件整備着手済)							
【手段 (事業内容・どのようなことを行うのか)】						【対象 (だれに対して・何に対して行うのか)】							
市道整備には、道路を拡幅して側溝を布設する道路改良整備と砂利道のアスファルト道にする舗装新設整備があり、それに伴う各種委託、物件補償を含めた事業で構成されている。						生活のために日常的に道路を利用している住民							
						【事業をとりまく環境の変化】 多数の要望に対し、限られた予算の中での事業推進のため、地元自治会にて道路改良事業については幅員5m (片側側溝) または6m (両側側溝)、舗装新設整備については幅員4mまでの土地の寄付について、合意形成をいただくよう基準を定めている。 土地の寄付が困難な場合は、工事費の2割を地元で負担することに同意していただき進めている。 また、近年人件費や資材等が高騰し、工事価格が上昇している。							
【令和 8年度 事業内容】				【令和 9年度 事業内容】				【令和10年度 事業内容】					
測量、設計等委託 道路改良工事 舗装新設工事 道路改良附帯工事 用地買収 物件移転補償				測量、設計等委託 道路改良工事 舗装新設工事 道路改良附帯工事 用地買収 物件移転補償				測量、設計委託 道路改良工事 舗装新設工事 道路改良附帯工事 用地買収 物件移転補償					
■ 事業費													
				R06年度		R07年度							
財 源 内 訳	国	庫	支	出	金	0	0						
	県		支	出	金	0	0						
	地	方			債	0	0						
	そ		の		他	0	0						
	一	般	財	源		30,274	40,327						
歳入計 (千円)				30,274		40,327							
歳 出 内 訳	節 (番号 + 名称)			金額 (千円)		金額 (千円)							
	10	需用費		198		160							
	12	委託料		2,892		1,699							
	14	工事請負費		27,184		37,468							
	21	補償補填及び賠償金		0		1,000							
歳出計 (千円) (A)				30,274		40,327							
伸び率 (%)						33.20							
備考	結城市総合計画P. 69												

# 令和 6年度行政評価シート

## ■指標

種類	指標名	単位		R06年度	R07年度	R08年度
活動 指標	道路改良工事	m	目標	500.00	500.00	0.00
	工事延長		実績	200.00	0.00	0.00
	舗装新設工事	m	目標	500.00	500.00	0.00
	工事延長		実績	238.00	0.00	0.00
成果 指標	道路改良工事 改良率	%	目標	21.35	21.50	0.00
			実績	21.48	0.00	0.00
	舗装新設工事 舗装率	%	目標	65.10	65.15	0.00
			実績	65.25	0.00	0.00

## ■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	誰もが安全安心に通行できる道路は、市民生活における重要な基盤である。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	道路法第16条により、市町村道はその路線に存する市町村が管理することになっている。
	手段の妥当性	A 妥当である	現在の手法が一般的である。
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	法令及び技術管理に即し、設計・施行するため妥当である。人員に関しても最小限で行っており、改善の余地はない。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	目的とした対象者に対して、広く便益を提供している。
有効性	成果向上の余地	B どちらも言えない	本事業は、市道の改良、舗装新設を行うものであり、計画は地域要望や道路環境を満足させた水準としていることから、さらなる成果向上は難しい。
進捗度	事業の進捗		地域要望に対して現在の予算内で行うことは困難であり、事業は遅れている。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
道路改良、舗装新設とも予算に対して地元からの要望量が多いことから、事業に着手し完了するまで長時間を要することになる。また、用地寄付等が地域でまとまらず事業化するまで至らないケースがある。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
予算増額を要望するとともに、舗装構成や施工方法を検討することで工事経費を削減し、年度施工延長を増やしていきたい。			

## ■方向性

1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））	
<input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input checked="" type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置	
方向性の具体的内容 地元からの要望が非常に多く、また近年人件費や資材等の高騰により要望路線の完了に時間を要している。今後、要望増も含め、設計や事業計画の見直しを検討していく。	
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））	
<input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり	
管理課連絡欄	